



ロータリーはみんなを幸福にする

2022-23年度

国際ロータリー会長

ジェニファー E. ジョーンズ

第2600地区ガバナー 上沢 広光

国際ロータリー第2600地区 上田六文銭ロータリークラブ Rokumonsen Rotary Club

【事務局】〒386-0025 長野県上田市天神 4-24-1 上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002 <http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>
《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30 《例会場》上田東急REIホテル 2F 《創立》1997年2月18日

●会長 斉藤恵理子 ●幹事 中澤 信敏 ●出席・会報・ニコBOX委員長 生川 秀樹 ●副委員長 杉山 裕 ●委員 小嶋 修一／宮原 宏一

写真協力：上田市マルチメディア情報センター

例会日誌

□司 会 中澤 信敏君

□開会点鐘 斉藤恵理子君

□R ソング 「我らの生業」

□ゲスト

敬老園 うえだみなみ乳児院

里親リクルーター 増田 浩司 様

社会福祉法人 原峠保養園

森の家はらとうげ園長 和田 良一 様

□委員会報告

プログラム・会場委員長 吉田 穰君

『1/24 職場例会』について



会員増強・親睦委員長 山崎 芳雄君

『チャリティーオークション』お礼



会長挨拶

斉藤恵理子君



2022 年 最後の例会となりました。
皆さんにとって良い年でしたでしょうか？

時間の長さは同じなのに、年と共に一年が早く感じてしまいます。ある心理学者は年と共に刺激と感動が減るからだと言っていました。物事の受け止め方が淡泊になり時間が短く感じるのだそうです。ま

た、老化の一番の悪は肉体の衰えでなく、物事に無関心になる事とも言っていました。

若々しい気概で来年は刺激と感動に溢れた良い年にしましょう！

幹事報告

中澤 信敏君

1. 米山奨学会より
・ 11 月 寄付金傾向
2. 地区事務所より
・ R 財団 寄付金明細表
3. さくら国際高等学校様より
・ さくら新聞発行のお知らせ
4. 上田市より
・ 上田市消防出初式縮小に伴う対応のお願い
5. うえだこどもまつり実行委員会より
・ 活動・収支報告書送付について

出席・ニコ BOX 報告

生川 秀樹君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	21	4	0	80.95%
前々回	21	6	1	76.19%

斉藤恵理子君 本年大変お世話になりました。おかげ様で折り返しまで来られました。来年も宜しくお願いします。

中澤信敏君 先週夜間例会参加できず残念でした。皆さん楽しそうでしたね。

水野泰雄君 一年間大変お世話様でした。皆様良い

飯島俊勝君
西澤尚夫君

山崎芳雄君

吉田 穰君

生川秀樹君

お年をお迎えくださいませ。
一年ありがとうございました。
一年間ご苦労様でした。良い新年をお
迎え下さい。
今年も残す所 4 日。来年もよろしくお
願ひします。
うえだみなみ乳児院増田様、上田六文
銭ロータリークラブへようこそ。スピ
ーチよろしくお願ひします。
今年もコロナで大変な一年でした。来
年は大幅な会員増と楽しい一年にな
ることを期待しています。

肥田野秀知君 笠原 一洋君 松澤 一志君
飯島 伴典君

ニコニコ BOX 喜投額 12/27	14,000 円
今年度累計	342,001 円 38.0%

プログラム



チャリティー寄付贈呈式

先週のチャリティーオークションの寄付金を『う
えだみなみ乳児院』様と『森の家はらとうげ』様に
贈呈しました。



森の家 はらとうげ様



うえだみなみ乳児院様

ゲストスピーチ

『子どもに家庭の暮らしを』

上田市にフォスターホーム(養育里親を)
社会福祉法人 敬老園 うえだみなみ乳児院
リクルーター 増田 浩司様



うえだみなみ乳児院は、様々な事
情で自分が生まれた家庭で生活でき
ない 0～概ね 3 歳までのこども達が
生活している定員 9 名の少人数の児
童福祉施設です。

日本では様々な事情により自分が生まれた家庭
で生活できない 0～18 歳までの子供達が約 4.2 万
人います。長野県には約 600 人います。支援は『児
童相談所』が中心になって行います。その子ども達
は乳児院、児童養護施設などの施設又は里親の元で
生活することになります。

乳児院は 0～概ね 3 歳までの子供が生活し、児童
養護施設概ね 2 歳～18 歳までの子どもが生活して
います。長野県内は 4 つの乳児院と 14 の児童養護
施設があります。

里親には養子縁組里親と養育里親があります。養
育里親とは子どもが一定期間自分の家庭に迎え入
れて養育する里親法律上も親子にはならない「フォ
スターホーム」と言います。

乳幼児にとって心身の健全な発達発育には特定
の大人との密接な愛着関係と個別に要求に応える
事が非常に重要です。施設は家庭と同じような暮ら
しや体験ができるように家庭に近づけようと努力
をしていますが、家庭にはなれないのが施設の限界
です。

地域にフォスターホーム(養育里親)が増えるこ
とで子どもひとりひとりのニーズに合った家庭で
生活ができるようになり、子どもが自分の地域から
離れずに生活できるようになります。

うえだみなみ乳児院では里親支援期間としてお
問い合わせから里親登録、子どもが委託された後も
児童相談所や上田市などと連携しながらサポート
いたします。子どもと若者が自分らしく生きる地域
社会の実現を目指して地域の中で当たり前のよう
に生活ができますように・・・それが私達の願いで
す。

1 月 17 日例会予定



慶祝・『ロータリーの友』紹介
国際奉仕・R 財団委員会の日
【ポリオ映像上映】